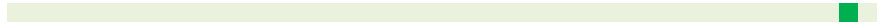


Contents

1. WEBメニュー.....	1
2. データの共有.....	3
3. TACTiCS 達人IIIからのコンバート.....	5



1

WEBメニュー

データを選択すると、次にメニュー画面が開きます。
インターネットに接続したパソコンでプログラムを利用するとWEBメニューが使えます。
メニュー画面は以下のように構成されています。

TACTICS 財務のWEBメニュー

情報ページ

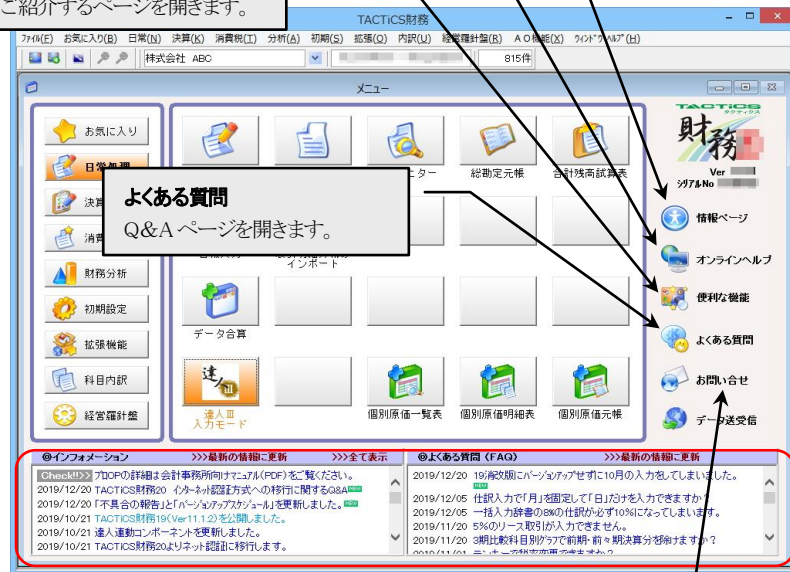
プログラムのバージョンアップ、ユーザー専用ページを使用できます。

オンラインヘルプ

WEB マニュアルを開きます。

便利な機能

プログラムの便利な利用方法をご紹介しますページを開きます。



よくある質問

Q&A ページを開きます。

インフォメーション/よくある質問

インターネット経由で最新の情報を取得し表示します。クリックするとブラウザが起動し詳細な情報を確認できます。

お問い合わせ

お問い合わせ先を表示します。

TACTICS 経営羅針盤のWEBメニュー

最新データ入手
TACTICS 財務からアップロードされたデータをダウンロードする場合に使用します。

プログラムの更新
最新のプログラムをダウンロードできます。

オンラインヘルプ
WEB マニュアルを開きます。

インフォメーション:
インターネット経由で最新の情報を取得し表示します。クリックするとブラウザが起動し詳細な情報を確認できます。

経営羅針盤
Ver. 12.0.0
ソフトNo. 8100053

メニュー

損益分析 (対前年) 月次比較 損益構成グラフ 3期比較 損益構成グラフ 3期比較科目別推移グラフ 3期比較 経営分析表

総合比較 損益計算書 予算対比 損益計算書

部門比較 財務諸表 資金繰実績表 支店比較 財務諸表 比較推移表

会計帳簿 分析帳簿 決算帳簿 科目内訳 経営羅針盤

最新データ入手 通信設定 プログラムの更新 オンラインヘルプ

①インフォメーション >>>最新の情報に更新 >>>全て表示

2019/10/21 <最新版>TACTICS経営羅針盤19(Ver11.1.2)を公開しました。
2019/09/09 TACTICS経営羅針盤19(Ver11.1.0)を公開しました。
2019/06/08 TACTICS経営羅針盤19(Ver11.0.2)を公開しました。
2019/04/22 TACTICS経営羅針盤19(Ver11.0.1)を公開しました。
2019/01/21 TACTICS経営羅針盤19(Ver11.0.0)を公開しました。
2018/10/22 TACTICS経営羅針盤18(Ver10.0.6)を公開しました。

2

データの共有

【サーバーのセットアップ】の順に従いサーバー用のプログラムをセットアップすると、『TACTICS 財務』をクライアントサーバー方式(データ共有と同時処理が可能)で利用できますが、これには専用のサーバー機が必要です。

同一データを同時に処理する必要が無ければ、専用のサーバー機がなくても任意のパソコンでデータを一元管理することが可能です。

ここでは専用のサーバー無しでデータを共有する場合の順をご案内します。

①LAN上のPCからデータを管理するPCを決めます。

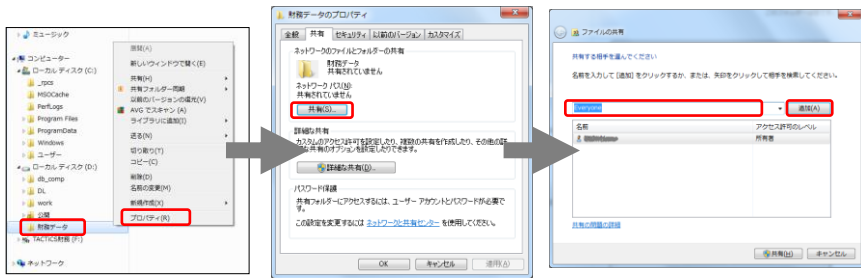
※OSは問いません。

※PCではなく、NAS(Network Attached Storage)などのネットワークに直接接続して使用できるファイルサーバでデータを管理することも可能です。

②①で決めたPCの任意の場所に“tacticszaimu”フォルダを作成します。

※“tacticszaimu”フォルダはドライブの直下にはなく、“財務データ”や“進行年度”など任意に作成したフォルダの中に作成することを推奨します。

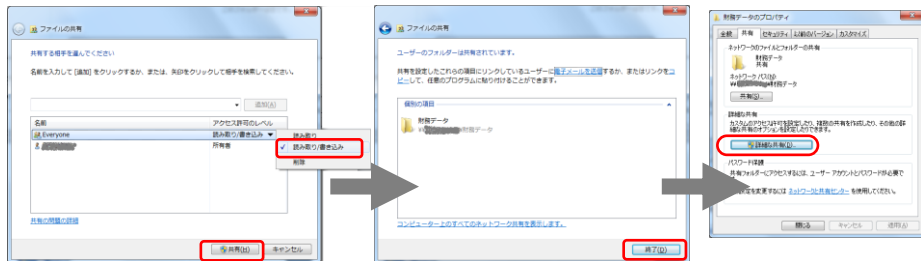
③“tacticszaimu”フォルダの一つ上の階層のフォルダを右クリックして、フルアクセス可能な共有フォルダとします。



“tacticszaimu”フォルダの一つ上の階層のフォルダを右クリックして「プロパティ」を選択

「共有」タブを開き「共有」をクリック

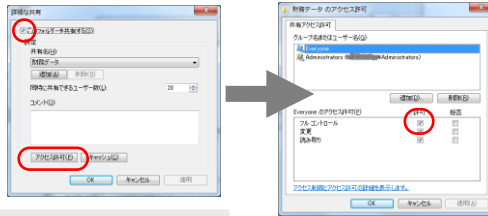
リストから「Everyone」を選択して「追加」をクリック。



「アクセスの許可レベル」を「読み取り／書き込み」に切り替えて「共有」をクリック

「終了」をクリック

「詳細な共有」をクリック



「このフォルダを共有する」にチェックして「アクセス許可」をクリック

「フルコントロール」にチェックして「OK」をクリック

※②で“財務データ”や“進行年度”などのフォルダを作りその中に“tacticszaimu”フォルダを作った場合は“財務データ”や“進行年度”フォルダをフルアクセス可能な共有フォルダとします。

※TACTiCS 財務を起動し、情報ページ>ユーザー専用ページ>ツールのダウンロードの中に用意されている「共有フォルダの設定」ツールを使うと簡単に行うことができます。

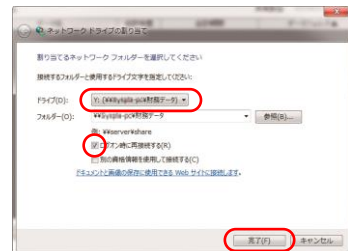
- ④TACTiCS 財務をスタンドアロンで起動して「データ選択」画面を開きます。空白行を指定し、「共有取得」をクリックします。



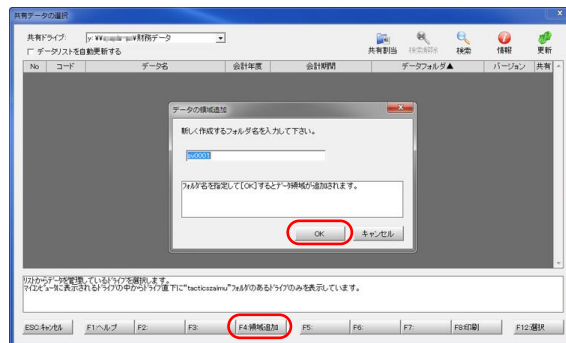
- ⑤【共有データの選択画面】が開きます。「共有割当」をクリックします。



- ⑥右の画面が表示されます。ドライブを適宜選択し、「ログオン時に再接続する」にチェックして「完了」をクリックします。



- ⑦【共有データの選択画面】に戻ります。「F4:領域追加」をクリックし、新しい領域を作成してください。データ共有の設定は完了です。
※この先のデータ作成等については「F1:ヘルプ」をご参照ください。



3

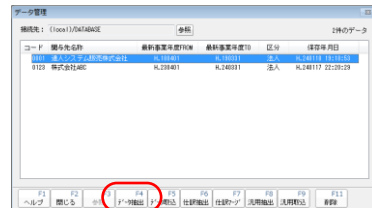
TACTiCS 達人Ⅲからのコンバート

「TACTiCS 達人Ⅲ」(Ver3.1.1.0)のデータはコンバート処理を行う事で『TACTiCS 財務』データに変換できます。コンバートプログラムは『TACTiCS 財務』と同時にインストールされます。

コンバート手順

■事前処理

- ①「TACTiCS 達人Ⅲ」のデータ管理からコンバート対象データを選択し、「F4 データ抽出」を実行してください。



- ②抽出条件でコンバートする対象事業年度又は指定なし(全事業年度)を選択し、確定を実行して下さい。

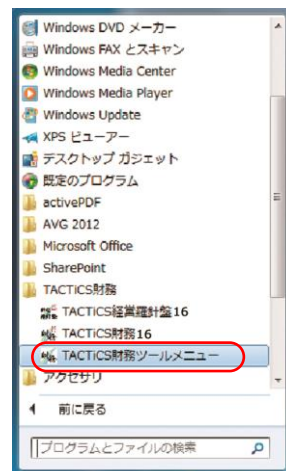
※「指定事業年度を含めて過去3年度分を抽出する」にチェックを付けて下さい。



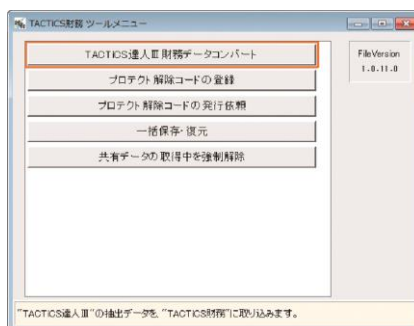
- ③データ抽出ファイルを格納するフォルダを指定する画面が表示されます。任意の場所を指定し、実行してください。

■コンバート処理

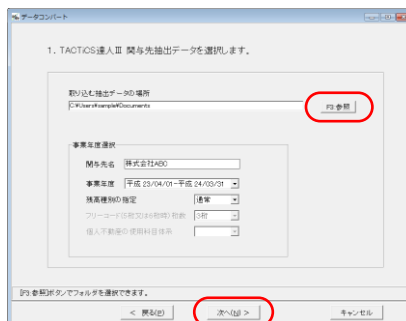
- ①『スタート>すべてのプログラム>TACTiCS 財務 >TACTiCS 財務ツールメニュー』の順でクリックします。



- ②『TACTiCS 達人Ⅲデータコンバート』をクリックします。



- ③『F3参照』から上記事前処理で作成したコンバート対象データを作成したフォルダを指定します。各情報を確認し『次へ』を押します。



・残高種別の指定

TACTiCS 達人Ⅲで登録した残高の種別を「通常／税抜」から選択します。

・フリーコード（5桁又は6桁時）桁数

TACTiCS 達人Ⅲで5桁又は6桁のフリーコードを使用していた場合、桁数を「3桁／4桁」から選択します。コンバートにより、科目コードは標準コード体系に変換されます。

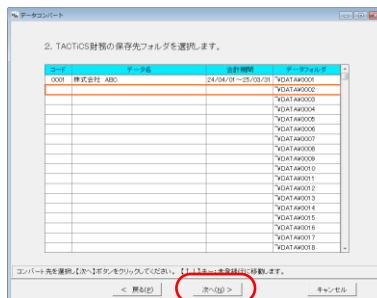
・個人不動産の使用科目体系

個人不動産データの場合、所得区分を「個人一般」「個人不動産」から選択します。TACTiCS 財務では所得区分により使用科目体系が異なります。また、作成される青色申告決算書の雛形が異なります。

※コンバート対象データを作成したフォルダへはコンバート時に情報が書き込まれます。書き込みができないメディアや書き込み権限がないフォルダは使用できません。

※指定したコンバート対象データに前期、前々期のデータが含まれ、一定の条件に合致した場合は、財務分析および過年度元帳用に前期、前々期の仕訳もコンバートされます。

- ④『TACTiCS 財務』データとしてのコンバート先を指定し、「次へ」を押します。



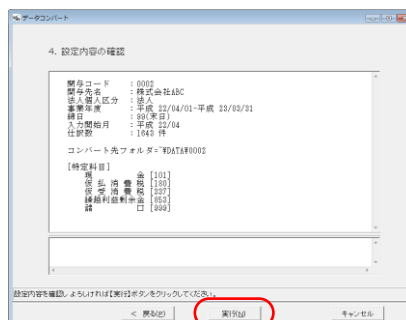
- ※コンバート先として共有フォルダの指定はできません。
- ※クライアントサーバー方式での運用の場合、コンバート先はサーバー機のフォルダになります。

- ⑤『TACTiCS 財務』としての特定科目を指定し、「次へ」を押します。

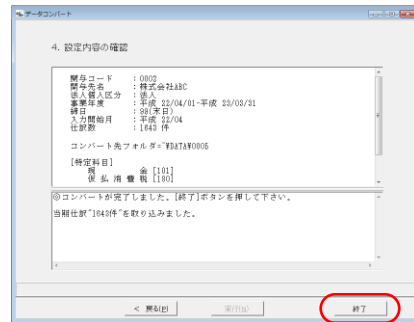


- ※特定科目は必ず指定してください。
- ※法人データの場合「現金・仮払消費税・仮受消費税・繰越利益剰余金・諸口」を右のリストから指定してください。
- ※個人データの場合「現金・仮払消費税・事業主貸・仮受消費税・事業主借・元入金・諸口」を右のリストから指定してください。
- ※TACTiCS 達人Ⅲで「仮払消費税」「仮受消費税」の科目登録をしていないデータはコンバートできません。科目登録をしてから処理を実行してください。

- ⑥コンバートの設定内容が表示されますので、確認後「実行」を押します。



- ⑦「コンバートが完了しました。「終了」を押して下さい。」が表示されたらコンバート完了です。



※「終了」を押すとデータコンバートプログラムが終了します。連続してコンバートを実行する場合は「戻る」を押してください。上記③へ戻ります。

コンバートに関する注意事項

◎警告について

- ①指定したコンバート対象データに前期、前々期のデータが含まれているが、残高が一致しない場合は次のエラーメッセージを表示し過年度データは取り込まれません。

「前々期末残高と前期期首残高が一致しません。」

「前期期末残高と期首残高が一致しません。」

- ②仕訳に旧消費税区分(対象外)が見つかった場合、次のエラーメッセージを表示しコンバートは中止されます。

「4.5%または、6.0%の消費税が含まれています。」

「当期仕訳に4.5%または、6.0%の消費税が含まれています。」

- ③仕訳に TACTiCS 達人Ⅲの設定にない科目コードが見つかった場合、次のエラーメッセージを表示しコンバートは中止されます。

「達人Ⅲの当期科目に登録されていません。」

◎エラーについて

エラーが生じた場合、コンバートは中止されます。

マイドキュメントにエラー情報が作成されます。エラー情報をご提供ください。

(siwake_err.log 及び tactics_convertererror.log)

◎勘定科目コード

3桁または4桁になります。

◎本支店コード

2桁になります。(01からの連番で自動付番します。)

◎部門コード

2桁～4桁になります。(5桁の場合は0001からの連番で自動付番します。00は共通部門の固定コードとして自動作成されます。)

◎個別コード

コンバート対象外です。

◎内訳コード

3桁または4桁になります。(5桁の場合は0001からの連番で自動付番します。)

◎連想摘要コード

TACTiCS 財務の摘要辞書に「連想摘要借方」「連想摘要貸方」「単一取引」「略号摘要」の見出しを作成し、それぞれの見出しの中に登録します。(1つの見出しに登録できる摘要の上限は3000です。)

単一取引辞書の金額はコンバート対象外です。

◎伝票番号

6桁以内でコンバートします。(7桁又は8桁はコンバート対象外です。)

◎自動税抜仕訳

仕訳間の関連情報は無くなります。

◎経理方式

税込・税抜の2択になります。(売上等の区分に応じ「消費税処理区分」を設定します。売上等・棚卸資産・固定資産・経費等の区分はありません。)

◎消費税申告区分

コンバートデータの消費税申告区分は全て「簡易課税」とします。その際の業種番号はTACTiCS 達人Ⅲの「業種」で判定します。

コンバート後そのままでは原則課税の消費税コードは入力できません。原則課税の消費税コードを入力する場合はTACTiCS 財務の【初期設定】-【基本設定】の消費税タブで消費税申告区分を原則課税に変更してください。消費税計算時に原則課税の消費税コードが混在する場合、総体を第4種として計算します。

◎消費税率・消費税番号

コンバート対象データの仕訳に4.5%、6.0%の税率を持つ消費税番号が存在している場合、コンバート対象外となります。

固定資産譲渡の消費税番号は通常売上とします。

特定収入の消費税番号は課税対象外とします。

課税A、課税Bの消費税番号は通常の5.0%とします。

消費税番号9999は課税対象外とします。

消費税番号9999が付された仕訳は期末一括税抜仕訳と判断します。

消費税番号が付されていない仕訳は課税対象外とします。

消費税番号8888は区分未定とします。

不適切な消費税コードは区分未定とします。

◎自由コード

自由コード(700~799)は諸口勘定の補助科目とします。

◎勘定科目の制御

TACTiCS 達人Ⅲの使用科目がTACTiCS 財務より多い場合、所定の勘定科目に補助科目として集約されます。

補助科目が設定できない制約科目(仮受消費税・仮払消費税・繰越利益剰余金及び元入金)が、集約の親科目となる場合は、補助科目への変換集約ができません。制約科目に統合されます。

◎開始残高

TACTiCS 達人Ⅲでは、開始残高に部門と補助の関連がありません。TACTiCS 財務での開始残高は補助を重視し、補助の合計を科目残高とし、共通部門に科目残高をセットします。